

# 事故を防ぐために

- 1 こまめに庫内の手入れを行い、  
汚れた状態で使用しないようにしましょう。

庫内の汚れを放置していると、こびりつきやさびの原因となるほか、  
発煙・発火の原因にもなるため、日頃からこまめに手入れをしましょう。

- 2 取扱説明書をよく読み、  
食品を加熱しすぎないように注意しましょう。

取扱説明書には食品に応じた加熱方法が記  
載されていますので、それらに従い、適切な  
設定をするようにしましょう。



## 万一、庫内で発煙・発火した場合…

- ★動作を停止させて電源プラグを抜き、  
直ぐには扉を開けずに煙や火が収まるのを待ちましょう。

万一、電子レンジの庫内で発煙・発火したとき、**あわてて扉を開くと酸素が急激に入  
るため、炎の勢いが増してさらに危険になる可能性があります。**直ちに動作を停止させ  
て電源プラグを抜き、直ぐには扉を開けずに煙や火が収まるのを待ちましょう。

●本内容は、独立行政法人国民生活センターホームページ内の「くらしの危険」コーナーにてダウンロードできます。

<http://www.kokusen.go.jp/kiken/index.html>

●本内容の詳細は、独立行政法人国民生活センターホームページに掲載しています。

<http://www.kokusen.go.jp/>

「くらしの危険」は、全国の消費生活センター、医療機関等から収集した情報をもとに、  
被害や事故の未然防止・拡大防止のために作られています。  
特定の商品・サービス等を推奨するものではありません。  
商品やサービス、設備によって起きた事故の情報を最寄りの消費生活センターにお寄せください。  
無断転載はお断りいたします。



独立行政法人  
**国民生活センター**

〒252-0229 神奈川県相模原市中央区弥栄3-1-1 TEL: 042-758-3165 ● 2016年1月発行

イラスト: 川崎 敏郎

# くらしの危険

Number

329

## 電子レンジ庫内の発煙・発火

—庫内の汚れの付着や食品の加熱しすぎに注意—

電子レンジは、一般家庭において日常的に使用されてお  
り、広く普及しています。一方、電子レンジ使用中の発煙  
や発火などに関する相談も少なくありません。

これらの相談の中には「電子レンジ庫内側面から火花が  
出た」といったもののほか、「電子レンジで野菜を加熱し  
ていて、野菜から火が出た」といった食品に関わる相談も  
寄せられており、発煙・発火の形態も一様ではありません。

また、長年使用された電子レンジによる発煙・発火など  
の事例もみられます。



# こんな事故が起きています

PIO-NET（全国消費生活情報ネットワーク・システム）※1には、電子レンジの発煙や発火などに関する相談が寄せられています。

※1：国民生活センターと全国の消費生活センター等をオンラインネットワークで結び、消費生活に関する情報を蓄積しているデータベースのことです。



## 【電子レンジ庫内の汚れの付着などが原因と思われる壁面の発煙・発火】

ケース1 陶器製コップに水を入れ、電子レンジで温めたところ、庫内の右側プレートから火花が出た。

（年齢不明 男性）

ケース2 電子レンジを使用して、冷凍したおにぎりを解凍しようとしたところ、庫内上部から発火した。急いでスイッチを切ったところ、火は消えた。試しに今朝もコップに水を入れ加熱してみたが、やはり火が出た。

（50歳代 男性）



## 【電子レンジ庫内の食品の加熱しすぎが原因と思われる発煙・発火】

ケース3 電子レンジでジャガイモを10分間加熱したらジャガイモが燃えた。レンジから煙が出たので火災警報が鳴り、壁がすすで黒くなった。

（20歳代 女性）

ケース4 レンジ機能で焼き芋を作ろうとサツマイモをラップせずに皿に載せ、700Wで7分間かけたところ、5分くらいした後、発火、煙が出た。

（60歳代 女性）

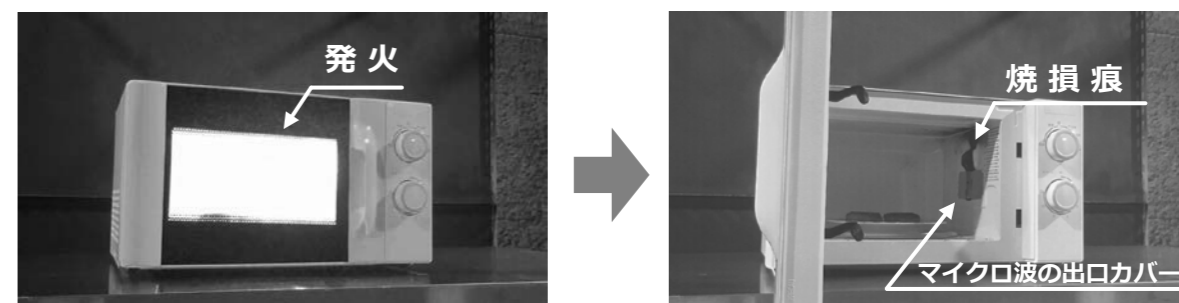
## 発煙・発火に至る加熱についてテストしてみました。

### （1）電子レンジ庫内の壁面から発煙・発火【食品カスの付着】

マイクロ波※2の出口カバーに食品カスが付着したまま加熱すると、その部分にマイクロ波が集中し、発煙・発火することがありました。

※2：対象物を加熱するために照射される2,450±50MHzの周波数を持った電磁波

写真1：庫内壁面の発煙・発火テストの例

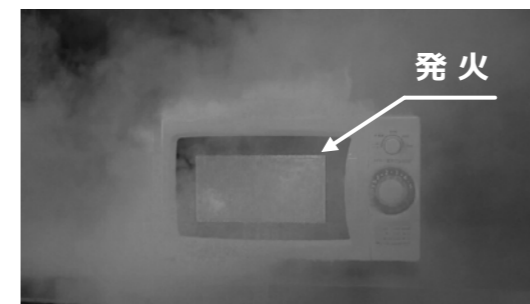


### （2）電子レンジ庫内の食品が発煙し、発火

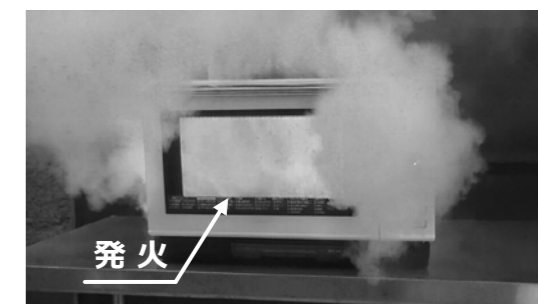
一例として、冷めた焼き芋（約100g）をラップせずに加熱を続けたところ、発煙・発火し、危険な状態になりました。

写真2：食品が発煙し、発火に至るテストの例

単機能電子レンジを用いたテストの例



オープンレンジの電子レンジ機能を用いたテストの例



いずれの電子レンジにおいても、加熱開始から4分ほどで発煙がみられ、その後、1分ほどで発火に至りました。

\*写真1~2の商品は事故事例とは関係ありません。

●このテストの詳細は、独立行政法人国民生活センターホームページ 商品テスト結果「電子レンジ庫内の発煙・発火―庫内の汚れの付着や食品の加熱しすぎに注意―」で見ることができます。